庭園の概要

建築家横浜勉氏（元鹿島建設顧問技師）の生家で，徳川時代の末期，百数十年前の先祖によって造られたと伝えられる。

この庭園は，日本古来の造園の開祖といわれる藤原時代の造園師，藤原良房の流れを汲むものが造ったといわれ，良房の造園技術を受け継いだ相阿弥という徳川上期の造園師が，世に残した絵図とも相似している。

徳川末期にいたって，南部地方には造園熱が高まり，この頃横浜家の当主が京都方面から庭師を招き，数年かかって造ったという。

池を広く見せるため，池周辺には背丈のある樹草は置かず，一尺程のツツジの刈り込みを散らばせ，或いはハイ松，小笹などで岩の色と調和させている。その中央には，大きな起伏の二石が置かれ，これが庭の品格を一層豊かにし，その背後に美しい枝を張る松があり，庭の主木となっている。

この庭園も回遊式の庭園で池をめぐる渡り石の線もまた風情がある。

（岩手日報社刊「庭園物語」（昭和 29 年）から抜粋）

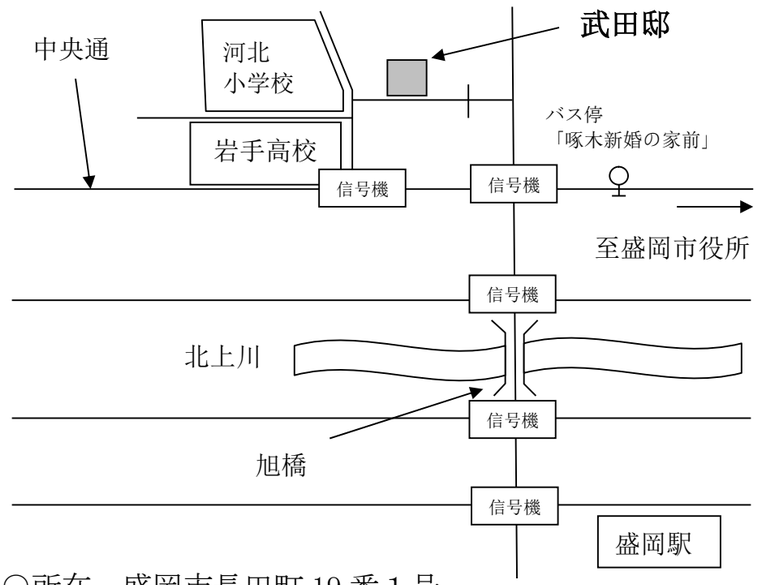
建物の概要

住宅は木造２階建，入母屋造りで竣工が昭和 25 年となっているが，建物の型式，材料，施工技術は戦前のもので一見大正，昭和初期の建物と見られる風格を持った建物である。

屋根は赤瓦と銅板葺きの二段屋根で１階の落雪の多い部分の屋根は銅板葺きのみとなっているが，雪止め，雨樋とも高度な銅板細工で現在その緑青が美しい雰囲気をつくっている。

外壁はヒバと杉の竪羽目板張りで上部に漆喰塗り込め壁となっている。建具が全て木製であるが庇（ひさし）が深いこと，材料が良いこと，保守管理の良いこと等でよく保存されており，約 600 坪の回遊式庭園とよく調和している。

【位置図】



○所在　盛岡市長田町 19 番１号

○駐車場はございませんので，来園の際は公共交通機関を御利用願います。

◎バス

【盛岡駅】

「でんでんむし」（右回り）に乗車し，停留所「啄木新婚の家前」で下車。徒歩約７分。

【盛岡バスセンター（Monaka 前）】

青山町線（岩手高校経由）又は「でんでんむし」（左回り）に乗車し，停留所「啄木新婚の家前」で下車。徒歩約７分。

◎徒歩　盛岡駅から約 15 分。

【令和８年公開期間】

5/2、5/3、6/13、6/21、11/1、11/7、11/8、11/14、11/15

（青：土曜日、赤：日曜日）

【公開時間】午後１時から午後４時まで

【入園料】　無料

【御利用の際の注意事項】

・当敷地内での飲食・喫煙は御遠慮願います。

・建物内は公開しておりません。

・荒天、強風の状況により予告なく公開を中止する場合があります。

☎　盛岡市 都市整備部 景観政策課　℡ 019-601-5541

盛岡市保護庭園
盛岡市景観重要建造物
盛岡市歴史的風致形成建造物

武田邸



盛　　岡　　市

ツツジ群

庭園入口

イチイ

ツツジ群

庭園を取り囲むアオキ・イチョウ・モミジ

イチイ

池を取り囲むサツキ群

イチイ，マツ

サツキ

